

農繁期 レポート

令和2年 9月号

エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	20.1アール
保証量	玄米 905kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀さん

今年も無事に収穫しました。
私の圃場は、9月20日に稲刈りを行い、翌日には籾摺りをして、一年の農作業は一区切りとなりました。9月に入り雨の日が続いていましたが、稲刈り当日は秋晴れで最高の日となりました。
オーナー様に無事に収穫の報告ができ、役目を果たせた気持ちです。
本当に有り難うございました。

9月の作業内容と稲刈り前の状態

1. 稲刈り

標高400m以上の高地は出穂後の積算温度が1,000℃に達した時が刈取りの目安です。早いと未熟米が多く、遅いと熟しすぎて粒が割れたりします。成熟期近くなったら、ほ場で籾の色を確認し、実際の収穫時期を判断します。

2. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が多いので乾燥機に入れ調整します。この工程でお米の品質は良くも悪くもなり、稲刈りよりも気を使う作業です。急激に乾燥させると粒が割れてしまったり水分にばらつきがあるのでじっくりと仕上げます。

3. 製品に仕上がるまで

乾燥機にかけた後、籾摺りをして玄米の状態にします。そこからさらに製品として出荷するためには石抜機⇒精米機⇒小米取り機⇒色彩選別機に通してようやくお客様へ出荷する厳選されたお米が出来上がります。

稲刈り直前の水田

